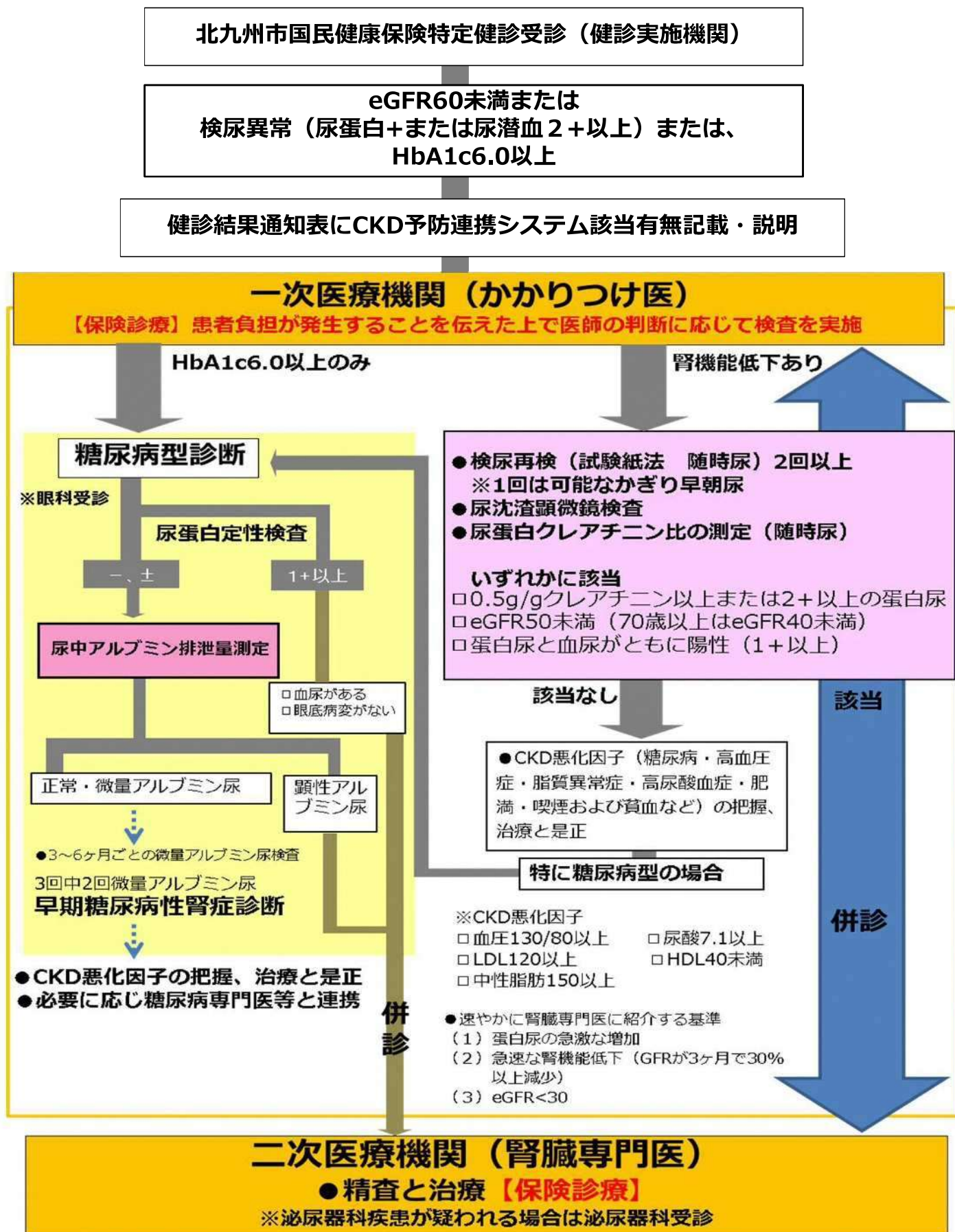


CKD予防連携システム図 (H29年4月改訂)



CKD予防連携システムの流れ <簡略版>

CKD予防連携システム該当対象者
(CKD様式1・特定健診結果通知表持参)

CKD予防連携システム該当基準
eGFR60未満または検尿異常
(尿蛋白+または尿潜血2+以上)
または、HbA1c6.0%以上

特定健診結果通知表よりCKD該当項目、検査結果等を確認

一次医療機関（かかりつけ医）
●検査と治療【保険診療】

②糖尿病性腎症(早期・顕性)
を視点とした検査・経過観察

- 糖尿病型の診断
- 尿中アルブミン排泄量の測定
※尿中アルブミン濃度/尿中クレアチン濃度(比)で評価
※糖尿病型診断後(3ヶ月1回)
- 網膜症検査

①腎機能を視点とした
検査・経過観察

- 検尿再検(試験紙法 随時尿)
2回以上※1回は可能なかぎり早朝尿
- 尿沈渣顕微鏡検査
- 尿蛋白排泄量の測定
※尿蛋白濃度/尿中クレアチン濃度(比)で評価

③上記(①・②)の悪化因子の把握と是正

【腎臓専門医紹介基準】

いずれかに該当

- 0.5g/gクレアチニン以上
または2+以上の蛋白尿
- eGFR50未満
(70歳以上は40未満)
- 蛋白尿と血尿がともに陽性
(1+以上)
- 糖尿病で顕性アルブミン尿検出

速やかに紹介する基準

- (1) 蛋白尿の急激な増加
- (2) 急速な腎機能低下
(GFRが3ヶ月で30%以上減少)
- (3) eGFR<30
CKD診療ガイドより参照

※診療情報提供書
※糖尿病連携手帳の活用

併診

様式2 (FAX) 紹介の際に送付
様式4-1 (郵送)

健康推進課
(事業評価・検討)

様式3-1

様式4-1・2 (郵送)

二次医療機関（腎臓専門医）
●精査と治療【保険診療】

慢性腎臓病（CKD）予防連携システム運用状況

1 年度内の各様式返信数（慢性腎臓病（CKD）予防連携システム運用状況）

運用状況	年度	29	30	R1	R2	R3
	様式2 ※一次医療機関から二次医療機関へ紹介連絡票		102	77	36	45
様式4 ※二次医療機関受診者連絡票		193	96	65	57	46

・様式2は一次医療機関より、様式4は二次医療機関から行政への返信様式

2 健診結果による一次医療機関および二次医療機関受診対象者数

年度		29	30	R1	R2	R3
対象者数	特定健診受診者 (A)	56,858 人	55,709 人	50,354 人	49,147 人	50,125 人
	一次医療機関受診対象者 (B) ※糖のルートを除く (B/A)	17,570 人 30.9%	18,010 人 32.3%	15,574 人 30.9%	15,983 人 32.5%	16,094 人 32.1%
対象者数	二次医療機関受診対象値の者 (C) ※健診時の結果より推計 (C/A)	3,162 人 5.6%	3,508 人 6.3%	2,504 人 5.0%	2,671 人 5.4%	2,712 人 5.4%
	専門医受診あり (D) ※問診より (D/C)	676 人 21.4%	764 人 21.8%	554 人 22.1%	657 人 24.6%	620 人 22.9%
	新規二次医療機関受診対象者 (E) ((C) - (D)) ※推計値 (E/A)	2,486 人 4.4%	2,744 人 4.9%	1,950 人 3.9%	2,014 人 4.1%	2,092 人 4.2%
	HbA1c のルート (F) (F/A)	9,499 人 16.7%	10,008 人 18.0%	9,630 人 19.1%	9,306 人 18.9%	9,284 人 18.5%

- ・特定健診受診者 (A) は受診者総数（当該年度 75 歳を含む）
- ・二次医療機関受診対象者 (C) は健診時検査値により北九州市慢性腎臓病予防連携システムによる二次医療機関受診基準該当者

3 様式運用率

年度	29	30	R1	R2	R3
様式返信数を新規二次医療機関受診対象推計数 (E) に対する割合	7.8%	3.5%	3.3%	2.8%	2.2%

取り組みの評価

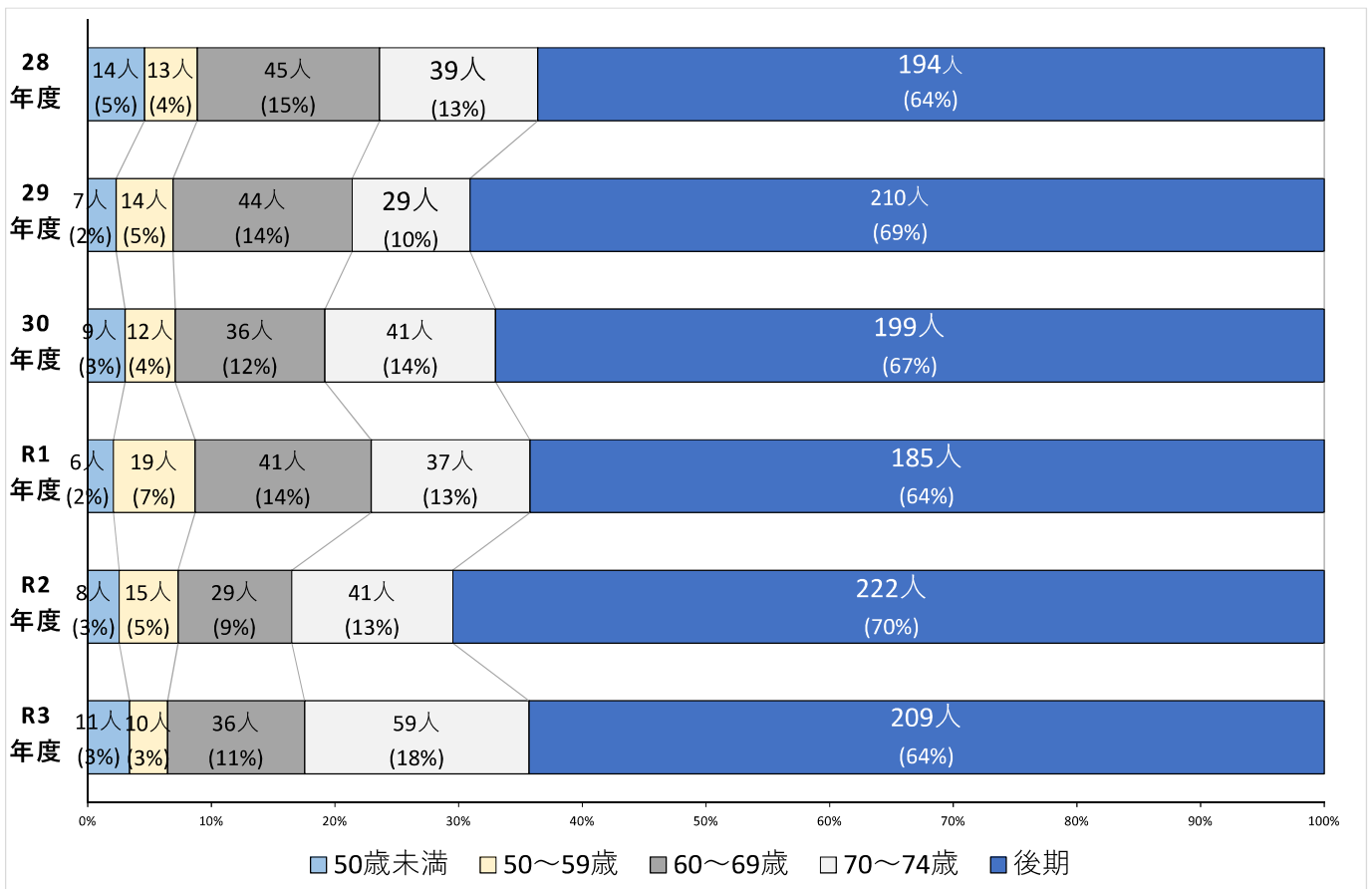
(1) 北九州市の新規透析導入者の推移

市町村名	国保											
	28年度	被保千対	29年度	被保千対	30年度	被保千対	R1年度	被保千対	R2年度	被保千対	R3年度	被保千対
北九州市	111	0.49	94	0.44	98	0.47	103	0.51	93	0.47	116	0.60
福岡県	459	0.38	457	0.40	508	0.44	487	0.43	487	0.44	491	0.45

市町村名	後期											
	28年度	被保千対	29年度	被保千対	30年度	被保千対	R1年度	被保千対	R2年度	被保千対	R3年度	被保千対
北九州市	194	1.35	210	1.43	199	1.33	185	1.22	222	1.47	209	1.36
再掲 (65～74歳)	29	—	32	—	28	—	28	—	28	—	25	—
福岡県	759	1.15	787	1.17	866	1.26	825	1.18	911	1.30	856	1.19

【保健事業評価・分析システム】

(2) 新規透析導入患者数の年齢別の推移



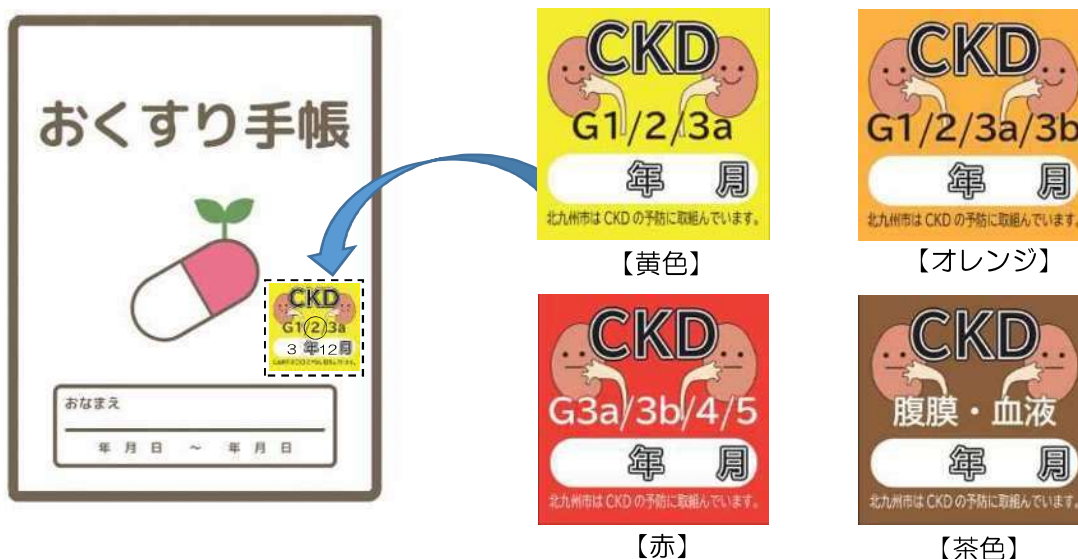
CKD ヒートマップシールについて

1. 目的

- ・患者本人が自分自身の腎機能について理解する
- ・かかりつけ医、薬剤師、コメディカル等の円滑な多職種連携を目指す

2. 活用方法

- ・かかりつけ医がCKD（慢性腎臓病）の方を対象に、該当する重症度分類の色のシールを、患者さんと相談し、お薬手帳の表紙もしくは内側に貼付する。
- ・貼付した年月、CKDの重症度分類に○を記入する。



【参考】CKDの重症度分類（CKD診療ガイド2012）

原疾患	尿蛋白区分		A1	A2	A3	
糖尿病	尿アルブミン定量(mg/日)		正常	微量7.7*ミシ尿	顕性7.7*ミシ尿	
	尿アルブミン/Cr比(mg/gCr)		30未満	30~299	300以上	
高血圧、腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎、不明 その他	尿蛋白定量 (g/日)		正常 (-)	軽度蛋白尿 (±)	高度蛋白尿 (+~)	
	尿蛋白/Cr比 (g/gCr)		0.15未満	0.15~0.49	0.50以上	
GFR区分 (ml/分 /1.73m ²)	G1	正常 または高値	≥90	①	②血尿+なら紹介、蛋白尿のみなら生活指導・診療継続	③紹介
		正常または 軽度低下	60~89	①	②血尿+なら紹介、蛋白尿のみなら生活指導・診療継続	③紹介
	G3a	軽度~ 中等度低下	45~59	②40歳未満は紹介、40歳以上は生活指導・診療継続	③紹介	④紹介
		中等度~ 高度低下	30~44	③紹介	④紹介	④紹介
	G4	高度低下	15~29	④紹介	④紹介	④紹介
	G5	末期腎不全 (ESKD)	<15	④紹介	④紹介	④紹介